



令和4年度 特別支援教育セミナー

7月29日(金)、本校食堂に於いて特別支援教育セミナーが開催されました。昨年度に引き続き感染症拡大を考慮し、グループワーク等は行わず、全体会のみの実施としました。3名の先生方の事例発表は特別支援教育の専門知識や日々の支援の在り方について理解を深めるものとなり、とても充実したセミナーとなりました。

お忙しい中多くの方にご参加いただき、大変ありがとうございました。



「通級指導教室の指導・支援について」

○陸前高田市立気仙小学校 教諭 佐藤 司

通級指導教室のこれまでの歴史やどのような子どもが支援の対象になるか等を説明。また、陸前高田市の特別な支援を必要とする児童生徒のスクリーニングシートの活用についてや陸前高田市の通級指導教室の取り組み状況について等を発表。

アンケートより

- ・保護者と共に子どもの実態を確認しながら共通理解を図っていくことの大切さを再確認した。
- ・通級指導についてよく分からないことが多かったので、経緯から丁寧に教えていただいて良かった。
- ・スクリーニングシートは児童生徒理解を図るためにどの子どもにも活用できると思った。

「特別支援学級の実態に応じた指導・支援について」

○大船渡市立大船渡北小学校 教諭 浦嶋 律子

交流学級の友達との関わりについての支援、日々の学習(生活単元学習、算数)の支援、行事に向けての支援について具体的な実践発表。支援の中で目指していること、気を付けていること等についてもポイントを紹介。

アンケートより

- ・個に応じた実践事例やスモールステップで工夫されたプリント類を見せていただき、大変参考になった。
- ・事例に分かりやすく手立て、対応が書いてあり実践しやすいと思った。
- ・子どもたちに向き合う先生のあたたかい気持ちや姿勢が感じられ、自分も真似していきたいと思った。

「引き継ぎシート ～中学校から高等部へ～」

○岩手県立気仙光陵支援学校 教諭 佐々木 佳絵

引き継ぎシートを通じて障がいのこと、関係機関とのつながり、家族のこと、できること(アピールポイント)、目指す姿等について共通理解の材料となり、また卒業後の進路につながっていくことを発表。

アンケートより

- ・引き継ぎシートが有効になるための具体的な記入内容が明確に説明されていたので分かりやすかった。
- ・子どもの弱点をポジティブなことと捉える視点の転換が大事だと思った。
- ・引き継ぎシートの活用と柔軟な心と目で子どもたちをみる大切さを学んだ。